

# アメックス通信

アメックスホーム伊那(有)  
住所 伊那市中央 5130  
TEL 0120-978-337  
FAX 0265-71-6207  
ホームページ  
<http://www.amex-ina.com>

毎月末発行Vol. 2

11月号

新築・リフォーム・建替え・二世帯・買い替え・売却をお考えの方へ  
アメックスホームの日常がわかる社長の家づくり情報誌です。

## — 継続は力なり —

皆様こんにちは秋山です。

1か月過ぎるのとっても早いです、実はこのDM書き出したのは11月上旬です。先月、四苦八苦して書いたアメックス通信ですが、... 発送作業してすぐ書き始めていました。文章力のない自分としてはかなりハードルの高い作業です(笑)

後に書いてありますが、11月7日「はなきりん総会」だったのですが、「はなきりん」大田理事長に合って、僕にかけられた最初の言葉は... **「ニュースレターどう？」**

私「まだ11月のはじめで全く進んでません。」  
理事長「**おそーい**」の一言!

内心、「まだ11月始まったばかりだし。。。」「書けないし」「苦手だし」...  
マイナス精神旺盛の自分に、大田理事長ひとこと **「頭が動かしてないからよ！」**

皆さんの中には、大田理事長を知らない人もおられるかと思いますが、女性でわたしと同じ年齢(年齢わかるとおこられるかも)ですが出来が違いすぎまー~~~~~す!  
すべて出来ない言い訳を言っている自分が恥ずかしかったです。

毎月に必ず発刊する事を決めたまではいいんですが、続ける事は大変な作業です。ただ、自分で書き始めて感じる事は、いろいろな場面で、よく観察していい情報収集するようになりました。何となく漠然と聞いていた話にも興味深く聞く姿勢になってきました。考えて文章を書く事は脳みそが動いているので訓練にはとても良い事だと思います。是非、皆さんもたまには文章を書いてみては如何でしょうか?

前置きはこれくらいにして。

11月7日、8日で一般社団法人暮らし支援機構 通称「はなきりん」の総会があり大阪まで行ってきました。長ったらしい名前なので **「はなきりん」** で覚えてくださいね!

場所は迎賓館だったレトロな建物で行われましたがなんとも凄い庭園と建物でびっくりしました。(写真を撮影するの忘れてました。。。)

はなきりんがスタートして1年が経ち全国のボランティア精神満載の仲間と行き会い話をしてすごーいパワーでした。

次ページに続く。。。

## — はなきりん総会での出会い —

初めての定時総会という事もあり理事の紹介など「はなきりん」の1年目の報告とこれからの計画などが発表されました。

理事の中に弁護士の横井先生という方がおられたのですが、年齢は70歳くらいで弁護士バッジを付けてピシッとスーツを着て見る限り真面目な弁護士先生だなんて感じでした。が！しかし！しゃべり出すと、大田理事長の事をボロカスに言うんです。こちらとしてはハラハラドキドキ！

例えば...

「この人、自分の言いたいことペラペラしゃべっておいて後はお願いって。その後、理事が考えた事も自分で考えた様にしゃべるんだよ！」って言えば大田理事長から「何言ってるんッ！」って突っ込みが入る。まるで漫才、さすが関西人だなんて話すタイミングだとか話すテンポが内容はともかく面白いんです。



横井先生は、笑いをとれる事に酔いしれドンドン話しが乗ってきた感じです。

人は話しを相手が聞いてくれてそれに反応してくれると気持ちよくスラスラ言葉が出てくるんだなあって思いました！

写真には写ってないですが、隣に大田理事長がいて鋭い突っ込みを入れてくれるので、ますます会場は笑いの渦に包まれました。

なんか！久しぶりにお腹から笑ったひと時でした。横井先生、ありがとうございました。

笑い話しのなかでも流石！弁護士先生いいお話しもしてくれました。

横井先生は、依頼された案件は絶対に断らない事を信条にお仕事をされているそうです。どんなに難しい案件でも解決できると言っていたのが印象的でした。まだ起訴される前の被疑者、起訴された容疑者の中には、なかなかしゃべってくれない人もいるそうです。そんな感じで本当に弁護出来るのかな？って思いますよね！シャベリたくない人に、いくらシャベラそうとしても、余計頑なにシャベラなくなるから、そういう時はシャベリたくなる状況を作ってあげるそうです。接見に行っても一言も会話がないうちもあるそうです。人が話しはじめるにはやはり相手を信頼しないと成立しない空気が、見えないけどある様な感じがします。

弁護士先生も依頼後、初めて会う状況がある訳です。そこらいくら相手が犯罪者だとしてもお互いの信頼関係を築いていく事が弁護士の最初の仕事になるそうです。逆に裁判や訴訟を起こした相手側とも先生曰く「話し合いで解決しない案件はない！」とお話ししていました。

カンカンに感情的な相手側も最終的には納得して示談になっていくそうです。「相手側を尊重して進めていく事が大切」だという事です。相手が今、何を望んでいるのか？どう対処して欲しいのか？が分からない状況で、いくら話しをしても一切、聞いてないし聞いている様でも伝わっていないそうです。ちなみに、先生自身も「はなきりん理事会」ではおおむね寝ているそうです（笑）夫婦の間でもお互いを尊重して相手が何を望んでいるのかをわかり合えれば何時までも、

「いい夫婦」でいられるそうです。やさしい言葉、自分より先に人の事、相手を思いやる気持ち、今後、自分がやらなきゃいけない事、足りない事、気づきがありました。「はなきりん」の活動を通して、地域の消費者さんに「自分で考える」「自分で決める」事の出来る「学びの場」を提供していきます。

来年1月13日（土）に建築会社では絶対に聞けない「住宅計画セミナー」を開催する事を決定しました。詳しくは後のページに書いてるイベントスケジュールで書いてます。

## 住宅のご相談

### ～浴槽のサビ！？ 何これ？～

お施主様（60歳代、7人家族、3年前に建て替えを結構な金額で施工された方）

#### 契約までのエピソード・・・

最初は、当社ではなく他の工務店やハウスメーカーとお話しをされていたので、建築のプロとしてアドバイスをしてる感じでした。正直、凄くとっつき易いご主人だったのを覚えています。なぜ？うちと契約？（笑）完成した後に聞いたのですが、私の第一印象が何度か打合せをするうちに変わったからだそうです。（私の第一印象かなり悪いのか？（汗）もう一つは、**暖かい家**をどうしても建てたかったからだそうです。私の自宅にも見学にきて頂き、いろいろアドバイスしました。大きな家を大きな会社ではない私達に託してくれたことが、すごく感動したのを覚えています。

ご相談があったのは、浴槽。「浴槽に小さな「サビ」のような点々がいっぱい出てきた。」と連絡があり早速、メーカーに問い合わせをしたところ水道水に鉄分が多いとたまに起きると聞きました。しかし、私の自宅も同じメーカーの浴槽ですがその様な現象は見たこともないし昔みたいに水道管が鉄で施工されているならまだしも今はポリブデン管というサビが出難いプラスチックみたいなパイプで配管するので考えにくい。とりあえず落とせる薬剤をもって伺うことに。。。

#### 到着すると・・・

私 「Kさんのお宅はよくいろいろ壊れますね（笑）使い方が頑固でしょ？」（冗談を）  
ご主人 「馬鹿言っちゃいけないよ！大切に使ってるよ！」  
私 「こんなトラブル初めてです」  
ご主人 「俺も最初は気が付かなくて、女房が気が付いたんだよ！」  
ご主人 「浴槽がダメだな！」  
私 （マジで！ 答え早っ！）「プラスチックからサビ出ますか？」  
私 「誰かご家族で金属を取り扱う仕事されてますか？」  
ご主人 「あー娘婿が溶接してるわ！」

**サビの原因：溶接時の火花が衣服から体に付着して鉄粉が浴槽の中でサビになったと推測**

でも、ご主人は嫁が原因とは言い難そうにしてる気がしたので「**仕事の原因ではしょうがないですね**」と私が言うと、ご主人は「**浴槽がダメじゃなきゃいら！こまめに掃除するよ。**」持参した薬剤で落ちたので一見落着となりました。

#### ここでプロのアドバイス！！

今回のケースは30年近くこの業界に居ますが、初めてのトラブルというか問題でした。今の浴槽はFRPのほかに人工大理石の浴槽、ホーロー浴槽、ステンレス浴槽などが存在しますが、近年、お掃除のしやすさを各メーカーは売りにしていて特殊なコーティングをほどこしてあります。絶対にやってはいけない事は研磨材の入った薬剤で擦る事はコーティングを削り取ってしまうので気をつけてください。

今回のケースは娘婿が転職しない限り起こり続ける。掃除すれば済むと、同居してる**娘婿を思いやるご主人の気持ち**が素敵でした。同居はいろいろ面倒な事もたまには起きますが、こんな素敵なお家族をみていて私自身も幸せな気分になりました。サビはお掃除すれば取れますのでご安心してください。

## 打ち合わせでの ～失敗したお話し～

わたしの打ち合わせでの失敗談です。

この業界は打ち合わせ、例えば「**建材店と建築会社**」とか「**職人と建築会社**」とか「**お客様と建築会社**」といった感じで打ち合わせの繰り返しで希望や夢が形になっていきます。みなさんがわかっているようでわかってない事が結構**あるある**なんです。

例えば、室内の壁を少し凹まして作るニッチ棚の位置高さを図面で描いていても、みなさんが実際に現場でみると「**えーこんなに低いんだとか高いんだとか**」「**この窓台の色濃いなー**」「**こんなに奥行きが少ないんだ。**」となります。

図面など工事前の打ち合わせは**超**～膨大な時間をついやしますし、希望も進行形で変わってきたりもするので確認、確認、確認をしたいけど、メモを書いてあっても整理がつかない。。。

先日。。。工事がはじまり順調なスタートを切っていましたが、建前（柱を建てて骨組みを造る工程）が始まって、だんだん家の形になってきた時にお施主さんが「**あれ。。。」「天、天窓がついてないですけど。。。**」

口がポカ～ンと開いたままの私「**あれれ。。。なんだ。。。えーっと。。。**」（汗）  
「**過去の打ち合わせシートを確認しても〇〇のことが書いてない。。。**」（汗）

なんとなーく その〇〇の話しをしたことがあるなーって思いだしてきました。それは、雑談の中で「**こんな感じもいいわー**」なんて話しをしてただけだったはず。。。「**じゃーなかったんだ!?**」確認、確認って常日頃から気を付けてもこのありさま（\_”）

お施主さんご夫婦も一晩考えますと言う事になりましたが、その日の夜に電話があり「**寝室から星を見るのが「夢」だったんです。**」と電話があり、、、  
そうだよな！ 「口では夢を形にします」なんてかっこいいコト言っても。。。自分が恥ずかしくなりました。

ただ恥ずかしいからと言って、屋根の下地まで出来あがってる状態で天窓を付けるのは簡単なことではなく。。。 すぐに天窓メーカーに納期の連絡！ ➡ 既に名古屋からスタンバイしてくれてた屋根職人さん達に工事がズれる謝罪説明！ ➡ 屋根に関連して工程が変更してしまう各種工事手配の変更連絡！ ➡ 見積に入っていない天窓を最低コストで見直し！

工事が始まると、ひとつの確認ミスが建材、職人、お施主さん、当社のスタッフに迷惑をかけることになってしまう事があったり、建物が完成する時まで影響し続けることもあります。簡単な事を怠ると、とんでもなく大きな問題になります。

### 失敗した私からのアドバイス・・・

建築だけではありませんが「**わかってくれてるだろう**」はありません。必ず文字や言葉で伝えて確認してくださいね。何回も確認してウルさがれても、何の問題にもなりませんから（笑）  
夫婦、子供の関係も会話をして伝えていく事が大切だと思います。星が見える生活してもらえてよかったです。（ホント。。。冷や冷やでした ^^;）

---

# イベントスケジュール

---

## ●「考える」お家の見学会●

今回、見学会にお借りするお家は、20代後半の若いご夫婦のお家です。新婚旅行でスペインに行ったとある街並みの、真っ白な外壁に真っ青な空。ずーっと憧れていた建てたい家のイメージだったそうです。

たまたま、私たちが広告に掲載した家の写真を見て、見学に行ってみようと思ってくれたのが初めての出会いです。

完成してご夫妻の感想は、夢を形にすることは想像以上に疲れたそうです（笑）イメージはイメージではなく、具体的なこだわりはそこかしこに... 1回3時間位の打ち合わせを40回以上重ねたと思います。終わってみてご夫妻も最初に考えておいた方がよかったと思う事も多いそう。

当日はお施主様もおられると思うので、いろいろ話を聞けるとと思います。

ご夫婦二人で決断して決断した事にすべて理由があるお家です。建築やリフォームをなんとなくイメージしてる方は、最初に何を「考える」べきかを考えるいい機会にしてください。

12月16日土曜日 13時から20時まで（ナイター開催）

12月17日日曜日 10時から15時まで

ご連絡頂ければ、案内状をお送り致します。（本アメックス通信の右上にフリーダイヤル）  
考えにきてくださいね

## ●建築業者では教えてくれない●

### 住宅計画セミナー

～将来の安全で安心な住宅は、計画の時点で決まる～

日時：2018年1月13日（土）

開演：13時～17時30分（受付12時半～）

会場：かんでんぱぱくぬぎの杜

詳しくは 2018年1月3日に折込広告が入りますご覧ください。

追伸：

こちらの講師は、はなきりん理事長の大田麻美さんです。

建築会社と建築業界をフッタ切ります。（私たちが建築業者じゃなければ心地いいくらい）  
きっと、アメックス通信で私書いている理事長ネタ、共感していただけるとと思います。

## スタッフ紹介

今月はプランから現場管理までひとりでごなす**西村春代**を紹介しまーす。  
秋山からみた西村春代を紹介しますね！

平成 12 年に当時勤めていた会社が悲しいかな倒産した事は先月号でお話ししましたが、その時に同僚で働いていたのが西村です。当時は営業をしていて結構な受注を取っていて、会社の中ではベテランの域。会社が倒産した時も西村が受注したお客様の工事中物件もありました。

倒産した会社の事務所で、悲しんだり、怒ったり、不安を抱えてる自分達のお客様に対して、どうにも出来ないはがゆいことだらけの中、西村と二人で未来の話をしたのを今でも思い出します。  
西村を一言でこんな人柄って紹介すると **「馬鹿が付くくらい真面目で正直者」**

女性ならではのよく気が付きバリバリ仕事をする女性です。気が付きすぎて私は困ることの方が多いのですが、西村が居なかったらこの会社は無かった。それは間違いないと思います。

住宅の打合せの中で、夫婦のことや子育ての相談されアドバイスしているのは日常的。確かに、長年生きて経験豊富（歳は内緒！）なので頼りになるのは分かりますが、聞き耳たてなくても入ってくる話の内容からは、人柄の部分が大きな理由だとわかります。

打合せする住宅の間取りだって、何回でも書き直します。そのトコトンの姿は人柄の中にある性分にも思えます。お客様の希望と夢が、お客様が納得するのを見るまで書き直してます。そんな西村ですから、奥様と二人の打合せでは女同士だからでしょうか、話しの脱線はハンパなく、打ち合わせ時間、我が社最長の6時間という記録をもっています（汗）

平均しても3時間から4時間！ よくこれだけ話すことがあるな〜と思うくらい。でも現場での間違いがほとんどと言っていていいくらい無いので、私としては文句は言えません。有難いくらいです。

私は家の間取りは女性が考えた方が絶対に失敗しないと思っていて、その理由は男性は現実より夢を語ります。その反対に女性は現実的な事を語ります。提案する私たち側は「生涯」を考えながら具体的が形にして図面に描いていきます。新築の時だけでなく、子どもさんが大きくなって、夫婦二人になった時でも、老後も不便のないよう未来も図面の中に入れていきます。

例えば、玄関の希望を 10 個あげて、希望の「理由」も聞きます。そして 30 年後、50 年後の変化についても考えプラン作成しますので、今は大丈夫でも将来はバリアになる段差のことも考えますし、子どもがいる時期は沢山ある靴の収納量も、将来は夫婦二人の靴の量になることも想定します。西村が描くプランは変更を繰り返し平均 10 回を超えます。女性ならではの細かい気遣いのある図面には、私も感心させられます。（私には絶対マネできませんが。←ここハッキリ言い切れます！）

西村の性格は業界ならではの男っぽいさばさばしてます。僕は西村に体よくあしらわれてる感もあります。僕は西村を「姉さん」と呼んでます。西村は僕のことを息子くらいにしか思っていないかもです。現場の職人さんからも「姉さん」と一目おいてます（笑

そんな西村が、仕事を引き継いでくれる**女性**を只今**求人中**。自身の歳を考えてそろそろ若い人材育成を考えてるようです（一人前になるには時間がかかる仕事だから、時間をかけて教えたいのが本人の希望）

西村が希望する人材は、心が強く、真面目で建築の仕事が好きになれる人で人が好きな人。少数で気楽な会社です。自薦他薦は問いません！ 我こそは！ 彼女なら！ おられたら、応募ください。